

# すずらん通信

Vol.57  
令和6年  
6月10日  
発行

## 新年度を迎え挨拶

ー4月19日創立記念日ー

今年の桜は、例年より遅く…といっても、例年早く咲き始めていたのが、通常通りになったという感覚でいました。あっという間に見ごろも終わり、季節は初夏へと移行していきます。皆様方におかれましては、おかわりなくお過ごしでしょうか。

鈴蘭学園も今年で17年目となりました。これもひとえに皆様のご協力のおかげだと思っています。いつもありがとうございます。

不登校の子どもは増え続ける一方で、その対策は空回りするばかりです。現場の先生方の声が上役の耳に入っても、そこから何かの動きが見えてこないのが現状です。だからこそ、動きにくい所を補うように民間団体や教育以外の分野(福祉、医療など)と連携し、はっきりとした動きにしていくなべきと常に訴えている次第です。鈴蘭学園でも、昨今の傾向(鈴蘭学園に来る不登校児に発達障がいもしくは精神障がいのあるお子さんが多数いること)から、2か所目の放課後等デイサービス開設を目指して目下前進中です。中村以下スタッフ一同、困難な波にぶつかりながらも更なる飛躍のた

めに頑張っていきたいと思っておりますので、今年度もよろしくお願ひします。

(中村 鳴美)



## 桜美林大学での講師

5年前に1度、桜美林大学で講師をさせていただいたことがあります。その後は、新型コロナの影響もありしばらくご縁がなかったのですが、今回、再びお声をかけて頂きました。ありがたいことです。今回は、「生涯学習支援論」という授業で、地域の中で多様な子どもたちにどう対応し、働きかけていくか、ということテーマに、フリースクールの実践を交えて話してほしいということでした。

当日までどんな組み立てにしようかと試行錯誤していました。メインとなるのは、「皆さんと考える時間」としました。お題は

2点、皆で考え、また、周りの人と意見交換をしてもらいながら、最終的には中村の現場の声をお伝えし、共感しました。

事前に担当の先生から、100人近くの学生さんがいて、100分の講義なので、後ろの席にいる学生さんは寝ていたりお友達とおしゃべりをしていたりするかも知れないと言われていましたが、何のその、「皆さんと考える時間」をたっぷり取ったおかげで、寝る時間も友達とおしゃべりする時間もなく、皆さん一生懸命参加してくれました。

最後に読み上げた、親御さんから鈴蘭学園に頂いたお手紙も静かに聞いていて、皆さんの目が潤んでいるかなと思ったら、担当の先生の目が潤んでいました。

数日後、学生さんたちからリアクションペーパーが送られてきました。それを見て、今度は中村が感動し、目がうるうるしました。その中で、「子どもたちにとってはなくてはならない居場所だ」という感想を読み、これから先もずっと続けていきたいというさらなる思いに駆られました。学生の皆さん、100分という長い時間にわたり、話を聞き、考えて頂き、本当にありがとうございました。中村も、皆さんがこんなに一生懸命授業に参加されていたことに感動しました。これから先、明るい未来を皆さんの手で作ってほしいと思ひました。応援しています。(中村 鳴美)

## 新年度の抱負(?)

新年度に入り2ヶ月が過ぎようとしています。子どもたちと関わることを20年以上行っている、この時期は「どのような関わり方が良いのかな?」などと模索しながら対応している時期でもあります。子どもたち、私たちは日々、小さな歩みかもしれませんが成長を続けているわけで、それを大事にしながらやっています。これは大学等でも同じかもしれません。やっとな、新たな年度に慣れてきた今日この頃です。

前年度にフリースクールのリフォームが実現したわけですが、今年度は放課後等デイサービスの2施設目開設でしょうか。適した場所、近隣住民など周囲の理解が不可欠なのですが、これらをクリアするのはなかなか容易ではありません。今年度中には是非とも2ヶ所目開設実現!といきたいところ。(桑原 和也)

## 多摩動物公園お楽しみ会

5月17日、お楽しみ会として多摩動物公園へ行きました。2年ぶりです。事前の問い合わせでは、団体客が多く大変な混雑が予想されていました。実際は、確かに混雑しているものの、予想していたほどではなく、園内を見学するには問題ない程度でした。

5月にしてはとても気温が高く、まだ体が暑さに慣れていないこともあり、まめに休憩を挟みながら見学しました。今回の見

学では寝たり隠れたりしている動物が多く、なかなか動き回る姿を見られませんでした。子どもたちは普段では見られない動物たちに興味をもって観察していました。特に昆虫館の昆虫たちには強い関心を持っているのが分かりました。他には非常にリラックスしていたカンガルーたちにも好奇心をくすぐられたようです。

急な暑さもあり、子どもたちに疲れが見えていたので、予定を切り上げて早めに帰路につきました。それぞれが目当ての動物を観察できたので、全部回りきらなくても満足な様子でした。（菅原 雅史）



アカカンガルー（上）  
コアラ（左下）・ターキン（右下）

## リリーベル活動報告

少し暑さを感じる頃となりましたが、寒暖差が激しく体調を崩しやすい季節ですの

で、皆様お体をご自愛ください。さて、5月も末となり、新年度を迎えて早2か月が過ぎようとしています。リリーベルにおきましても新年度を迎えて、開所時間や活動時間の変更などご迷惑をおかけしましたが、子どもたちの活動をより充実させるように職員一同頑張っていますので、今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

さて、4月からリリーベルではご飯とお味噌汁を子どもたちと一緒に作り、一緒に食べる食育活動をしています。ご飯は、韓国のりのふりかけやのりたまといった定番のふりかけなどいくつか用意していますが、子どもたちは自分の好きなものをふりかけて食べています。お味噌汁では、季節の野菜やリリーベルで育てている野菜などを使ったものを食べています。子どもたちが一緒に作ってくれるご飯とお味噌汁は美味しくいただいております。

最後に、5月のハイキング活動について報告します。5月のハイキング活動は24日の金曜日に東京都八王子市の長池公園で行いました。長池公園は、里山の自然環境を保全した総合公園で、北側には芝生広場と長池見附橋、人工の姿池の景観が見られ、端正な住宅街と開放的な自然環境を感じられる公園となっています。24日の天気は快晴で25℃程度と多少の暑さを感じるハイキングとなりました。また、多くの動植物もあり、自然を身近に感じられ、子どもたちは虫に怖がりながらもハイキングをすること

ができました。

今年度もリリーベルでは子どもたちに寄り添い過ごしやすい空間と『やすらぎ』の場であることを願って、職員一同頑張っています。（貞清 裕介）

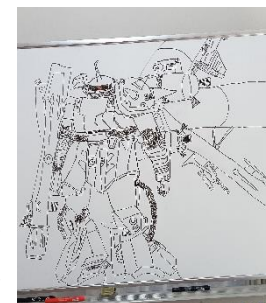


## 中村のちょっと感動した話

鈴蘭学園に通っている子どもたちは、皆さんとても上手で素敵な絵を描きます。ホワイトボードに一生懸命書いていて、消すのが、もったいないぐらい。その度に感動しています。

今回は、子どもの許可を得て写真を載せさせて頂きました。ご協力ありがとうございます！

本当に、素晴らしい絵ですね。スマホに、何作品かおさめており、どの作品も素敵なので掲載を迷いましたが、この作品を選ばせていただきました。



## お悩みの方、ご相談ください。

自信・活力・自分らしさを取り戻すため、あなたと共に問題に向き合います。まずは、ご相談ください。

相談専用ダイヤル TEL：042-733-0015

電話相談事業は、神奈川県フリースペース等補助金により運営しています。